

# 平成22年度明誠舎サマーセミナー

主催：社団法人心学明誠舎 共催：懐徳堂記念会、大阪府

最近、心学の教えが様々な分野で注目されてきました。日々起こり来る事に対してどのように考えればいいのか。弊舎として今年度も多角的な視点から『心学』に関連するセミナーを提供し、先人の知恵を学び、現代に活かし、次代に伝える活動を企画していきます。

皆様のご参加をお待ちしております。お申し込みは裏面にご記入の上FAXまたはメールでお送りください。

回	開催日時	演 題 ・ 講 師
1	7月2日(金) 18:30～20:00	演題：心学道話の日本語 講師：山東 功氏 大阪府立大学准教授
2	7月23日(金) 18:30～20:00	演題：江戸時代の 孝子 とはなにか 講師：ファン ステンパール ニールス氏 京都大学大学院生

## 山東 功氏の講演ご案内

心学道話の多くは、例えば「吉凶善悪共に、教にあらざるものはないでございます。」(『松翁道話巻之上』)のように、口語体を基調とした大変平易な言葉で書かれています。中には「すつぱらぼんと」といった相当砕けた言葉さえ見受けられます。それでは、こうした親しみやすい表現を、当時の人々はどのように感じ取っていたのでしょうか。今回は、心学道話の日本語を通じて、江戸時代における共通語の意味や、庶民の言葉の実相について考えてみたいと思います。

### 山東 功氏略歴

大阪府立大学 21世紀科学研究機構准教授、大学史編纂研究所所長

1970年、大阪府生まれ。2000年、大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了。大阪女子大学専任講師を経て、2008年より現職。財団法人堺市文化振興財団理事。博士(文学)。

専攻は日本語学、日本思想史。著書に『明治前期日本文典の研究』(2002、和泉書院)、『唱歌と国語 明治近代化の装置』(2008、講談社)、『「大学」を学ぶ 大阪府立大学史への誘い』(2009、大阪公立大学共同出版会)共著に『ブラジル日系・沖縄系移民社会における言語接触』(2009、ひつじ書房)など。

## ファン ステンパール ニールス氏の講演ご案内

戦前の教科書には、数多くの「孝子」が見習うべき対象として登場しますが、戦後から現在に至って、そのような教育が表の舞台から姿を消してしまったようです。「親孝行」という言葉を耳にすることさえ稀になりました。公教育は人や社会の道德観に圧倒的な影響を与えているのが分かります。ならば、公教育がなかった近世で、人の道德観がいかに成立し、いかに語られたのか。こうした問題意識から、私は「孝子」という存在とその語られ方に着目したいと思います。近世社会では、「孝子」がいかに意識・創造されたか。いかなるメディアで、いかに描かれたか。それには教育もしくは教化という営みがいかにかわったのか。本講演では、そのような問題について考えていきたいと思います。

### ファン ステンパール ニールス氏略歴

オランダ出身、ライデン大学で日本史専攻修士課程修了。現在、京都大学大学院教育学研究科博士後期課程2年次在籍、近世日本における「道德」の語られ方や表象の多様な在り方を研究。



- 記 -

日 時： 平成22年 7月 2日(金)  
平成22年 7月 23日(金)  
 両日とも午後6時30分～午後8時

会 場： **さいかくホール (大阪府新別館北館 1階)**  
 大阪市中央区大手前3-1-43

定 員：先着90名(当日可)

受 講 料：資料代実費500円/回(舎員は無料)

申込方法：郵送、Tel、Fax、E-mailにてお申込ください。

問 合 先：大阪市浪速区難波中3-9-3エール学園内  
 (社)心学明誠舎事務局(担当:山田)  
 Tel. Fax.06-4981-6899  
 e-mail : [meiseisha@ehle.ac.jp](mailto:meiseisha@ehle.ac.jp)  
 ホームページ <http://www.ehle.ac.jp/meiseisha/>

### サマーセミナー参加申込

(社)心学明誠舎事務局 (Fax 06-4981-6899) (e-mail : [meiseisha@ehle.ac.jp](mailto:meiseisha@ehle.ac.jp)) まで

ご出席日を で囲んで ください	7月2日(金) 山東 功氏講演
(フリガナ) お名前	7月23日(金) ファン ステーンパール ニールス氏講演
(フリガナ) お住所 〒	
会社名	
E-mail	

#### 舎員募集のお知らせ

個人舎員：3,000円/1年 講演を無料で聴講いただけます。(石門心学講演会を除く)  
 法人舎員：20,000円/1年 1講演につき5名様まで無料でお入りいただけます。  
 (石門心学講演会を除く)

詳しくは[meiseisha@ehle.ac.jp](mailto:meiseisha@ehle.ac.jp)又は講演会場でお問い合わせください。